

ますし
もう町
ンチ公
害を中
るとま
りまは
され

財政白書公表

昭和32年度
上半期の

町の財政事情は毎年度上半期、下半期の二回に公表することになつており、今回は昭和三十二年度上半期の財政事情を公表することになりました。

このうち、昭和三十二年度の予算については既に四月の町報でお知らせしましたので、昭和三十一年度の決算の状況についてお知らせすることになりました。

町税の滞納七〇〇万円

三十一年度決算狀況

三千年度決算は別表のとおりで、才入
三九七九万六千円、才出三九五一万五千
円で決算残金は二八万一千円となっています
これを予算とのべてみますと、才入五
〇七万一千円、才出五三万五千円とそれ
どく少くなっています。このように五〇〇
万円以上の不執行予算が生じたわけですが
そのおもな原因は、

國道沿の維持修繕費一七九万二千
円、新設改良費五八万七千円、橋
梁修繕費三万三千円、河川砂防費
二万三千円、災害土木費一七〇万円
県道改良に伴う町の用地補償金六
六万七千円、その他の補助三万四
千円となっています。

△教育費 七五〇万円

才入

他生活改善費などです。

△財産費 二八六万円

財産の造成費三三五万八千円（うち国有林払下による年次払込金二二万六千円、中学校農業実習地購入費一〇万円）、積立金二万八千円、財産の維持管理費 四七万八千円であります。

△統計調査費 二万三千元

国および町の諸統計調査の経費です。

△選挙費 四〇万五千円

選挙管理委員会費三万九千円、参議院議員通常選挙費二万五千円、海区漁業調整委員会委員選挙費一万七千円、町長町議一般選挙費七万九千円、参議院議員補欠選挙費一〇万二千円その他の選挙事務費となつています。

△公債費 三七二万七千円

町債の長期借入金元金払込一三万四千円、利子払込金二二万八千円、一時借入金利子一〇万一千円であります。

△諸支出品 一六五万六千円

徴税費三万二千円、過年度支出金一二万円、その他の雑支出金となつています。

より一八万四

△町税 一四五・一万三千円
町税の収入状況は別表のとおりで予算額一六〇・七九千円に對して調定額は二一八・八二千円となつており、収入落額は一四五・一万三千円で予算に對して一五六・六千円の減、調定に對して実に七三・六千九千円の滞納になつています。この内訳は三一年度が三五・九万四千円、三〇年度以前からの分が三七・七万五千円となっています。

なお、滞納の最も多いのは固定資産税の二七・七六千円、次に地

△公営企業及び財産収入 五二・七万七千円
おもなものは立木売却代金四九・二万四千円で、その他不用道略敷、売却却代金一・六万円、製糸事業特別会計からの収入五・九千円等であります。

△分担金及び負担金 一八・八千円
保育所入所児童の一部負担金であります。

△使用料及び手数料 一・二八万三千円

町の住宅等の使用料七十一万七千円、戸籍、印かん証明その他の手数料が五六万五千円であります。

△国庫支出金 二八〇万四千円

イ、国庫負担金二〇四万二千円

災害土木費負担金一一二万七千円、保育所入所児童に要する負担金三一万四千円、農業委員会の経費に要する負担金三一万四千円、義務教育教材費の負担金二六万八千円等です。

ロ、国庫補助金 四七万五千元

校舎災害復旧補助二六万四千円を始め、社会教育、義務教育に対する補助金です。

ハ、委託料 二八万二千元

統計調査、参議院議員選挙、自衛隊員募集など国の事務を委託執行するに要した費用の支出金です

△県支出金 一三万五千元

町、戸籍、印かん証明その他の手数料が五六万五千円であります。

△国庫支出金 二八〇万四千円

イ、国庫負担金二〇四万二千円

災害土木費負担金一一二万七千円、保育所入所児童に要する負担金三一万四千円、農業委員会の経費に要する負担金三一万四千円、義務教育教材費の負担金二六万八千円等です。

ロ、国庫補助金 四七万五千元

校舎災害復旧補助二六万四千円を始め、社会教育、義務教育に対する補助金です。

ハ、委託料 二八万二千元

統計調査、参議院議員選挙、自衛隊員募集など国の事務を委託執行するに要した費用の支出金です

△県支出金 一三万五千元

県単林道沿原線の開設事業に対する補助四七万九千円を始め、衛生、農林業、統計、選挙事務等の支出金が六五六千円となっています。

△寄附金 五四万七千元

県単林道沿原線の開設事業のため地元寄附金が三万五千元、公民館の映写機購入寄附金が一万円教育施設が五万四千円一般の寄附金が八千円となっています。

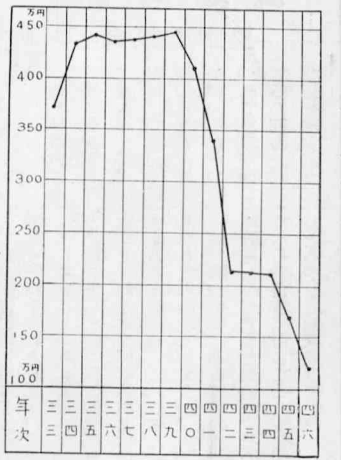
△繰越金 三万四千元

△雑収入 四三万円

以上決算の内容について説明しましたが、これをさらに分析してみますと

才入決算では町税が三六・四%で最も多く、次いで地方交付税の三四・三%で一般財源（何にでも使える金）が総額の七五・一%です。

公債費の推移



住民負担の状況 (調定額による) 単位千円

年度別	国 税	県 税	町 税	計	住民1人 当負担額
29	4,445	3,543	15,571	23,559	1,600円
30	3,880	3,249	16,874	24,003	1,506
31	3,743	3,338	16,565	23,646	1,582

吉
和
坂

告知板

旧国家総動員法に基いて徵用された者に係る弔慰金請求について

此次の事業場は終戦前軍需会社法に基く指定事業場で、九州各県から徴用されていた事業場であります。茲により、この事業場で従業中罹患死亡した者が約四〇〇名と推定されておりますが、現在まで遺族援

加藤製作所（長崎市駒場町二丁目三四五）

（註）この事業所は、昭和十九年一月、従来よりあつた加藤製作所に松尾鉄工所（長崎市駒場町二丁目三）日東鉄工所（長崎市駒場町一の一）、日月商工株式会社（長崎市駒場町一の一）が合併したものであります。

例えは遺族が徵用を松尾鉄工所と承知していても加藤製作所従業員として処置ができることであります。

右事業場の経営者は鹿児島県出身者でありますので、お参考までにお知らせ致します。

とを遺族が知つていないのではないかと思われまゝ。該當遺族は、長崎市稲佐町三丁目七五 日興産業株式会社の社長に、死者者の職務、勤務工場を記し、戸籍書類等を添付し送付すれば調査の結果で証明書が発行される筈でありますから直接照会するよう、鹿児島県民生労部長より通知が来しましたのでお知らせ致します。

記

※図書貸出について

町民の皆様へ 公民館は貴方がたのもの、図書室は皆様の来訪と御利用を何時でも首長くお待ち致しております。幸いに図書も入荷中ですので十二分に御活用願います

小説

一、体の中を風が吹く
一、風と共に去りぬ
一、渾血児の母 その他百冊

伝記

◎住民負担の状況

過去三年間の町民の税負担の状況は次の表のとおりですがこれは課税額であつて滞納になつている分も含まれていま

す。

まず、国税は間接税を除いた所得税、法人税であり、県税は県民税、事業税、不動産取得税、狩猟者税、自動車税であります。

これらの外、いろいろの寄附金などを含めますとさらに多額な負担額になるわけにあります。

※町民の代表者としての公明館ではたゞ今昭和三十一年一月十五日成人式の成人者名簿を部落長を通じて整理中ですが、出稼者でも右期日も町内にお住いの方がありましたら本月二〇日までに知らせて下さい。

なお、名簿は昭和十三年中に出生した方のみです。

◎公債の状況

本年九月末の償還の状況は別表のとおりで、町債を償還するための経費は、数年上昇し、三九年には一番多く、元利四四六万九千円に達します。この償還には将来とも一般財源を充て、行くので大きな財政負担となつております。

これは本町に限らず全国の県市町村共通の大きな問題で、政府としてもその対策に苦心しているところであります。

今まで、閑居職業安定所まで出向いていた失業保険金支給事務を十二月から当町神之浜公民館（八坂神社）で取扱うことになりました。

今月の支給日は、五日、一日日、二六日の三回です。

○
む
す
び

以上かいつまんで説明しましたが、町政の前途には、道路
産業、教育、社会事業などいろいろしなければならぬこと
が山積しておりますが、この多難な財政事情の中でどうして
これを切りぬけてゆけうか、町民みなさまの絶大な御協力の下
さらに研究と努力を重ねて前進しなければならぬと存じま
す。

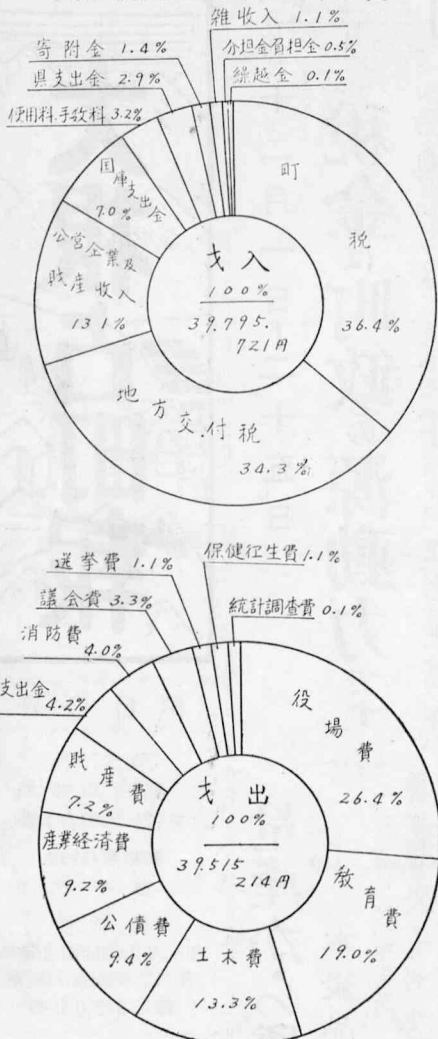
よろしく御批判、御検討の上、御協力下さるようお願い申
上げます。

下さい。

米の政府売渡は順調にすすんでい
ますがもち米の売渡しはかん
ばしくありません。

生産地の子供も、都会の子供も
同じように正月にはおもちが食べ
られるようにもち米の売渡しに協
力して下さい。

昭和31年度に於ける費目別割合



昭和31年度 町 税 収 入 状 況 (単位千円)

税 目	調 定 額			収 入 済 額			滞 納 額			収入割合 (%)		
	現年度	過年度	計	現	過	計	現	過	計	現	過	計
町 民 税	4,217	1,654	5,781	3,362	463	3,825	855	1194	2049	79.73	27.98	65.15
固 定 資 産 税	7,929	2,390	10,319	5,836	707	6,543	2093	1683	3776	73.61	29.58	63.41
自 転 車 荷 車 税	926	316	1,242	678	86	714	247	231	478	73.27	27.08	61.50
たばこ消費税	2,161	—	2,164	2,164	—	2,164	—	—	—	100.00	—	100.00
電 気 か ず 税	1,008	—	1,008	1,008	—	1,008	—	—	—	100.00	—	100.00
釅 産 税	8	—	8	8	—	8	—	—	—	100.00	—	100.00
木 材 引 取 税	501	515	1,016	115	63	178	387	452	839	22.85	12.24	17.48
犬 養 税	30	29	59	18	6	24	12	23	35	59.73	—	39.88
接 客 人 税	—	9	9	—	—	—	—	9	9	—	0	0
計	16,783	4,913	21,696	13,189	1,324	14,513	3594	3589	7183	78.59	26.95	66.89

昭和31年度決算における 目的別財源別分析表 (単位千円)

経 費 内 訳				決 算 額		財 源 内 訳	
				金 額	総額に対する割合	特 定 財 源	一 般 財 源
消 費 的 経 費	人物その他	物件の計	費他	13,382	62.3%	340	13,042
				7,606		2,046	5,560
				3,420		863	2,557
				24,408		3,249	21,159
維 補 修 持 費	道 路 橋 梁 等	建 物 計		1,457	4.6		1,457
				365		365	
				1,822		365	1,457
公 債 費				3,722	9.3%		3,727
投 資 的 経 費	普 通 建 設 事 業	災 害 復 旧 計		7,266	23.9	1,135	6,125
				2,298		1,491	807
				9,558		2,626	6,932
合 計				39,515	100.00	6,240	33,275

一、偉人尾崎行雄
一、魯迅回想
一、与謝野晶子